

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目

目コード:200013

病態生理学 Advanced Pathophysiology

担当教員	今井 美和、岩佐 和夫、平居 貴生、紺家 千津子				
実務経験	複数教員が担当 病院等の実務経験と教員としてのキャリアを有している				
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)	◎	(3)
Keywords	病態生理、病理、病変、臨床				
学習目的・目標	<p>目的: 多様な症状・徴候を呈する患者に対し、根拠に基づく適切な看護を提供するための病態生理の基礎知識を習得する。あわせて、病態生理に基づき患者の状態を総合的に判断し、看護計画の立案や臨床判断に活用できる能力を養う。</p> <p>目標: 代表的な疾病の事例検討を通じて、疾病の概念、病因、病態生理、診断・治療の原則を体系的に理解する。さらに、得られた病態生理の知識をもとに、患者の症状や検査所見を関連づけて解釈し、適切な看護介入を検討できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1-3	オリエンテーション 疾病の基本 病因、細胞傷害、免疫・炎症、循環障害			講義・討議	今井 美和
4-6	病態生理 循環器系疾患 呼吸器系疾患 消化器系疾患 免疫疾患			講義・討議	今井 美和
7-8	病態生理 代謝性疾患 内分泌系疾患			講義・討議	平居 貴生
9-10	症状・徴候の病態生理			講義・討議	岩佐 和夫
11-12	診断・治療の原則			講義・討議	岩佐 和夫
13-14	病態生理 脳・神経系疾患			講義・討議	岩佐 和夫
15	講義内容の看護への活用			討議	紺家 千津子
教科書	各講師が随時提示する				
参考図書等	各講師が随時提示する				
評価方法・基準	授業参加度(発言・ディスカッション) 70% + 課題の遂行・提出状況 30% により評価				
関連科目	アドバンスト フィジカル アセスメント、臨床薬理学				
教員から学生へのメッセージ	疾病の病態生理を体系的に理解し、高度専門看護の実践に活かしてください。				